

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 3 月 10 日作成)

小委員会名	ノーマライゼーション環境小委員会		主 査 名：水村 容子 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会(計画基礎運営委員会)		委員長名：布野 修司 主 査 名：大野 隆造
設 置 期 間	2008 年 4 月 ~ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・【設置目的】高齢者、障害者、子どもなどを対象とする建築・都市計画上の課題をとりあげ、ノーマライゼーション社会の実現に向けた研究活動を行う。 ・2008-2009 年度：障害をもつ学生等の大学生活を保障するための環境整備に関する研究会の開催および研究会の成果のまとめ(刊行予定) ・2008 年度：日本建築学会における情報保障体制の整備に関する提案 ・2009 年度：大会研究集会の開催 ・2009-2012 年度：新規研究課題への取り組み 各年度：今日的な研究課題に関する公開研究会の開催、見学会の開催など		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有		
	主査：水村容子(東洋大学) 幹事：阪東美智子(国立保健医療科学院) 八藤後猛(日本大学) 山脇博紀(筑波技術大学) 委員：大村薫(日本女子大学) 小幡敏信(本田技研工業) 亀屋恵三子(神戸市立高等工業専門学校) 古山周太郎(奈良県立大学) 斉藤芳徳(茨城大学) 菅原麻衣子(東京工業大学) 鈴木義弘(大分大学) 高橋儀平(東洋大学) 西野達也(広島大学大学院) 山崎晋(明治大学大学院) 吉村和美(吉村和美住環境デザイン研究所)		
設置 WG (WG 名：目的)	刊行 WG：「障害を持つ学生等に対する教育支援制度・施設環境に関する研究」の刊行準備を行う。 既往研究レビューWG：関連研究論文リストや小委員会の軌跡をまとめる。		
2008 年度予算	195,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keikakusub/s12/	

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 見学研究会・デイサービスセンターと地域密着型高齢者地域生活サポート施設の見学会：参加者数 20 名 2. 見学研究会・広島大学アクセスビリティーセンター：参加者数 10 名 3. 公開研究会・障害をもつ学生等の大学生活環境に関する研究会・第 3 回 参加者数 23 名 4. 公開研究会・防火対策強化で揺らぐ高齢者・障害者の地域生活確保の安定性に関する研究会(2009 年 3 月実施予定)
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<p>障害をもつ学生等の大学生生活環境に関する研究会により内容を深化させることができた。学会における情報保障体制の整備に関する提案の実施、今日的課題に関する公開研究会、見学会なども予定通り実施できた。また来年度の大会研究集会のPDのテーマとして本小委員会の提案が採用された。</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<p>新規研究課題については議論がまとまらず策定に至っていない。継続研究課題である障害を持つ学生の大学生生活環境に関する研究の総括(刊行)と同時に、新しい課題に着手していきたい</p>

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。